

IMF サーベイ

韓国・IMF 会議

IMF 専務理事、 対アジア関係の新時代の幕開けを期待

IMF サーベイ・オンライン
2010年7月7日



IMF のストロスカーン専務理事
(左) と韓国の韓 恵洙特使：韓国・
IMF 会議はアジアの発展と成長を示
す機会となる。(IMF 写真)

- IMF、対アジア関係の再構築が今後 12 ヶ月の主目標と指摘
- 韓国会議、IMF の対アジア支援改善の検証の機会
- アジア各国大使、IMF とアジアのより密接な関係の構築を希望

国際通貨基金（IMF）のドミニク・ストロスカーン専務理事は6月30日、ワシントンの IMF 本部において、20人以上のアジア各国の大使を招きレセプションを行なった。このレセプションは、韓国で開催される重要な会議に先立ち行なわれたもので、IMF は、同会議が、アジアというダイナミックな地域と IMF との関係の、新時代の幕開けの契機となることを期待している。

10年以上前にアジアが金融危機に襲われた際、IMF はアジアの多くの国に大規模な融資を行ったが、同危機以来、IMF とこれらの国との関係は張りつめたものになっている。

ストロスカーン氏は各国大使及び代表への歓迎スピーチの中で、アジア金融危機にまつわるアジアの記憶を振り返ると共に、アジアとの関係の再構築は「IMF の今後 12 ヶ月の主目標の一つだ」と述べた。

「我々は責任を逃れる意図はないが、建設的且つ前向きでありたいと願っている」

前向きな関係

IMF 専務理事は、7月中旬に韓国の大田市で韓国政府と共催で行なう [会議](#) は、IMF のアジアへの貢献のあり方を検証する機会となると述べた。

同専務理事は「アジアの国や地域の中には、他と比較し良好なところもあるが、IMF は、様々な国や地域に多様な支援や助言を提供することができる」と述べた。IMF は、主に技術支援、融資、及び政策助言という3分野で支援を行うことができる。

柔軟な IMF

タイのドン・プラモドゥネイ大使はストロスカーン氏の発言を歓迎した。タイは、アジア危機の際に IMF から金融支援を受けた国のひとつである。

同大使は「現在の IMF はこれまで以上に柔軟だと見て取ることが出来る」と述べた。「専務理事の対応から、専務理事には対話の用意があるとの印象を受けた」

韓国の韓 恵洙特使は、IMF・韓国会議はアジアの発展と成長を示す機会となるとして、他の大使に参加を呼びかけた。韓特使は、アジア各国の経済は、オープンでプルーデンシャル規制が導入されており、また政府の介入も適切なレベルで行なわれていることから、称賛に値すると述べた。

韓大使は「アジアは、環境保護と成長、そしてプルーデンシャル規制とビジネスの自由との両立のモデルとなるだろう」と述べた。

世界経済におけるアジアの役割

過去 50 年以上で最悪の経済危機からの脱却において世界を先導しているアジアは、最近非常に大きな注目を集めている。IMF の評価の中には、アジアは今後 20 年で世界最大の経済圏となると予測するものもある。このような成長見通しとアジアの回復のペースにより、アジアへの信認が新たに生じたといえる。

バングラデシュ大使館のムハンマド・ワヒド・ホセイン経済担当公使は「アジアは、成長の新たな原動力だが、その力はアジア地域のみには留まらない。世界がアジアの重要性を認識すべき時が来たのであり、この度の韓国での会議はその契機となるだろう」と述べた。